

5年目スキルアップ研修

10月10日（金）に、県総合教育センターの寺川絵理 研修指導主事に来ていただき野洲小学校で代表者授業協議会を行いました。直接授業を観てお話しいただけることは貴重な体験となります。また、参観し協議会で意見交流することで授業の見方（授業づくりのポイント）が分かってきます。

11月14日（金）の祇王小学校の研究授業をもって、今年度の小中学校の5年目スキルアップ研修の対象となっている先生方の研究授業が終わりました。2学期の研究授業を行ったり、参観したりしたことで得られた成果と課題の要約を以下に示します。

成果

- 授業の最初と最後の挨拶や持ち物など**学習規律**の面に注意を払い、学習にメリハリをつけて臨むようにしています。
- 整理整頓からはじめ、**学習環境**に注意を払っています。
- **視覚的な補助教材**を作成・活用することを心掛けたので、学びの支援となっています。
- 低学力の子どもへの**個別支援**に努めています。
- 自分が苦手な領域・単元だからこそ**教材研究**をしっかりと、自信をもって授業に臨めました。
- 具体から抽象へという考え方を意識した授業ができました。
- 子どもの意見を大切に授業を進めることができました。
- 導入において、既習学習や前時の学習から**学習課題を子どもと一緒に**考えることで、主体的な学習になるように気を付けています。めあてや学習の流れの提示も心がけています。
- 友達の意見を聞いてみたいと思う交流活動を組むことができました。
- **選択の場**を設けたので意欲的に挑戦したり、友だち同士で声をかけたりする場面が見られました。
- 学びが**楽しい**と思える雰囲気でも学習を進めることができました。etc.



課題

- 机上の用意など**学習規律**を徹底させることで、学びにスムーズに入れるように指導を徹底していきます。
- 声の大きさ速さはよいと思うが、**言葉遣い**をソフトにしていきたいと思います。
- 自信をもって**発言・発表**ができるように工夫していきたい。
- 子どもの学びをもっと拡げられる活動を考えていきたいです。
- 子どもの実際の**学習活動時間を長く**取れるように心がけているが、教師の説明の時間等で時間がかかりすぎるときがあるので注意していきます。
- **声掛けや手立て・支援の方法**をもっと学んでいきたいと思います。
- **操作活動**は子どもの意欲を増すものですが、その活動に対する**支援・声掛け**を具体的なものとしてもっと考えていきたいと考えます。
- 教え込みになりすぎないように、**視覚的資料**や**子どもの発言**等から学習を広げていきたいです。
- **個別指導**ができるよう、**机間指導**を大切にしていきたいと思います。
- 本時の流れや**めあての立て方**など、授業づくりをさらに心掛けていきたいと思います。
- 単元全体の**見通し**や一授業の流れを具体的に**イメージ**して授業づくりを進めていきたいです。etc.



先生方は、真摯に授業づくりに取り組まれました。上記の成果と課題をこれからの授業づくりに生かしていただければと考えます。

先生方は、1学期にモデルの先生方の授業を参観し、公開授業を行うことで、自分の授業を見つめ直すという作業を行いました。そこから、研究主題を考え、研究論文の書き方講座（講師：県総合教育センター参事）で、「研究の進め方」について学びました。

研究授業⇒研究会そして研究論文作成という流れで、今後、授業実践の成果と課題をまとめていきます。年明けの1月9日（金）が締め切りで、20日（火）の研修で成果等の報告を行います。

おすすめの絵本



『おたすけこびととおべんとう』

なかがわ ちひろ 作 コヨセ・ジュンジ 絵
出版社 徳間書店

人気の定番ロングセラー。

「おたすけこびと」シリーズの最新刊、第7巻！

こびとたちが、働く車をつかって、人間にたのまれた仕事をみごとにはたします。

累計 32 万部、ヨーロッパやアジアでも人気のシリーズです。

朝、お父さんがおたすけこびとに電話をかけました。

「たんぼぼ島」にピクニックにいった子どもに、おべんとうをとどけてほしい、というのです。

こびとたちは、おべんとうと、働く車をフェリーにつみこんで、島をめざして、船出しました。ところが……？

おすすめの図書

Z会

小学生のための

思考力
ひろがる
ワーク

入門編



Z-KAI

『小学生のための思考力ひろがるワーク 入門編』

Z会編集部 著 出版社 実業之日本社文庫

主に小学 1～3 年生対象で、考えることが好きになるワークです。パズルのように楽しく取り組める構成です。いろいろ考えながらじっくりと取り組み、解けた瞬間の「わかった! 」と感じる快感・達成感を味わえる問題がそろえられています。考えることが好きになれるワークです。

○10 歳までに身につけたい考える力を鍛えられます。教科学習とは異なる観点での「思考力」が身につきます。

○知識そのものではなく“知識を使う力”を養う

知識を活用する力を問う問題を基本としています。要求される知識は難しくないものの、発想や着眼点で高度なレベルを求められる問題もあります。

『中高生のための目標達成ノート』

原田教育研究所 原田隆史 著

出版社 ディスカヴァー・トゥエンティワン

今は、企業で働くたくさんのビジネスパーソンや、世界を舞台に活躍するアスリートたちにも実践されている「原田メソッド」ですが、もともとは、中学生が取り組んでいたものなのです。その中学生たちは、原田メソッドを活用して、部活動で自分が決めた目標を達成したり、希望する進路を手に入れたりしました。

この本には、

1. 目標達成のための具体的な行動が見つかる「オープンウィンドウ 64」
2. 目標達成のシナリオとなる「目標設定用紙」
3. 自分の感情や考え方を丁寧に理解するための「日誌」
4. 成長するための習慣を身につける「ルーティンチェック表」という「原田メソッド」の4大ツールが盛り込まれています。

